

S C 会 議

9:00 出勤、朝礼

10:00 本庁にてSC会議参加



- ・毎月1回、市内5包括の2層生活支援コーディネーター (SC) が集まり「SC会議」を開いています。
- ・8月は、「今後のSC会議について」や「連絡事項」「訪問報告書様式」について話し合いました。
- 今後、包括間の情報を活用して東部地区の活動に適した支援方法を模索していきます！

14:00 自治会長訪問



C支部長
(A町B公民館にて)

Q、どうして訪問したの？

A、今年度の語らん場にて、「我が地区自慢」を開催するからです♪

Q、何を聞いたの？

A、各地区の今ある「行事」「繋がり」「人材」等についてお聞きしました。

- 【特性】
- ・コロナ禍になる前はレクレーションで地区の子どもから高齢者まで全員集合し餅や蕎麦を皆で作って食べていました。
地域の行事を通じて世代間の繋がりがありました！
 - ・呉服店や魚屋、クリーニング、製材所等商店が多いのも特性です。
 - 幅広い可能性を感じた地区でした！コロナ禍の状況を見ながら地区での話し合いが出来る日が楽しみです。

15:30 記録

- ・訪問で知り得た情報をPDCA (P:計画、D:実行、C:評価、A:改善) サイクルに沿って情報を整理、入力し地域に合った支援の仕方を3職種 (保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー) と一緒に考えています。
- ・その他、議事録や社会資源集の作成など、資料の作成や入力作業もしています。



20:00 Fあいあいクラブ訪問
(Gいきいきサロン)

Q、どうして訪問したの？

A、「D町の助け合いの仕組み作り」に向けて、E支部長と話合い、「まずは既存のボランティアグループに語らん場の経過、アンケート調査の結果を知って頂き、今後の仕組み作りに賛同頂けるか聞いてみよう！」という事で訪問させて頂きました♪



D町のH地区にあるボランティアクラブ、「Fあいあいクラブ」と「Gいきいきサロンスタッフ」の方々は同じメンバーです。
子育て時代を共にしてきた仲間です♪

今回は、昨年度実施したアンケート結果を元に「これからの地域の助け合いの仕組み作り」について意見を出し合いました！

- ・「地域の人達に助け合いの仕組み作り、立ち上げを理解してもらう事が大事！」
- ・「ボランティアとして協力するのは可能！」等の声が聞かれました。

SCの一言

コロナ禍で「語らん場」の開催が延期になったりと予定を変更せざるを得ない日々が続きますが…それぞれの地域に合わせたサポートが出来る様にと心がけています。
これからも楽しく語り、「この地域に住んで良かった！」と言える地域を目指して一緒に頑張りましょう！